

⑥知的障害者の医療

課題：

．テキスト第3章を熟読し、施設・事業所における感染症予防のためのスタンダード・プリコーションの必要性和具体的方法について解説し、あなたの経験を踏まえて具体的実践例を述べなさい。

スタンダード・プリコーションとは、利用者の感染症の有無に関わらず、総ての利用者に対して共通の配慮を行うものである。感染症の検査に数日かかったり、潜伏期間は偽陰性として結果が出てしまうことがあること、また利用者の感染症に関する情報が不十分であっても、スタンダード・プリコーションでの対応により感染予防を行うことが出来る。医療・福祉の現場に従事する者は、身につける必要がある感染予防対策である。具体的方法について以下に述べる。

①手からの感染を防ぐ

支援者は、手を介して人に感染症を移さない工夫が必要である。不健康な手は病原体が居座りやすく、感染症を運ぶ媒介者になりやすいので、まず自身が怪我やささくれ等がない健康な手を保持するよう日頃から注意する。そして次に手洗いの励行である。効果的な手洗いの方法を身につけ、頻繁に手洗いをを行う事が有効であり、その際ペーパータオルやエアータオルを使用する事が望まれる。また手指消毒も病原体による汚染を効果的に除去でき有効である。そして体液、血液、排泄物にふれる可能性のある時は必ず、手袋をすることも重要である。

②気道感染を防ぐ

空気感染や飛沫感染を防ぐ為に行うこととして、まず、気道感染の入り口の喉の衛生を保つ為に定期的にうがいをする事は有効である。また利用者に感染症をうつさない為、そして利用者の分泌物からの経気道感染症をもらわない為にはマスクを着用する事が重要である。

③接触感染を防ぐ

病原体を含むものにできるだけ接触しないよう、切り傷等にはしっかりと覆いをする。またエプロンを着用したり、隔離の必要な感染症のある利用者に接する時はガウンを着用するが、正しい方法で着脱する事が重要である。

④血液からの感染を防ぐ

①で述べたように血液には素手で触れないようにする。血液汚染された物はビニール袋に入れ運び、次亜塩素酸ナトリウム溶液に浸すか、熱湯消毒をして処理する。

⑤血液以外の排泄物・分泌物からの感染を防ぐ

糞便には様々な雑菌が含まれているため、手袋を使用する。尿は基本的に無菌であるが、糞便と一緒にあったり、カテーテルや尿バックを取り扱う時は手袋を使用する。唾液や痰はティッシュペーパーでの処理が可能だが、咬傷の後の消毒は確実に行う。ビニール袋を適宜使用し、衣服は熱水洗濯が有効である。

⑥感染機会の制限

体液、分泌物、排泄物、血液が付着するおそれのあるもの、また直接口の中に入れる物は個別化する。施設で感染症が発生した場合個室で静養したり、場合によっては隔離的対応が必要である。

⑦感染リスク者へのスタンダード・プリコーション

感染症への抵抗力となる体力や免疫力が低下している感染リスク者には、支援者は病原体を運ばないように感染予防策をより丁寧に確実にを行う。

私の勤務する生活介護支援事業所では新型コロナウイルス感染症の流行以降特に力を入れ様々な感染予防活動に取り組み、現在も継続して行っている。まず、手洗いの励行である。職員は当然ながら、利用者にも手洗いの徹底を進めている。作業後や食事前など、職員が見守り、都度洗えていない箇所等の声掛けを行っている。また口頭では理解しにくい利用者の為に効果的な手洗い手順の写真を洗面台に張り付けている。そして、手指消毒も頻繁に行っている。食事前や食後、送迎バスの乗降時等に行っており、職員は常にウェストポーチに消毒液を入れ携帯して使用している。次に換気も重視している。施設内では、60分毎に施設内全ての窓を開け、5分間の換気を行っている。換気し忘れないよう、キッチンタイマーにて管理している。少しスタンダード・プリコーションとは、ずれてしまうのかもしれないが利用者が固定している施設では利用者の体調管理も感染防止の一つであるかもしれない。登所時、昼食前、午後作業前と検温を行っている。各利用者の年間平均体温を記録しており、体温記入用紙と並べて確認している。一般的には平熱であっても、その人にとって±0.5度以上の差がある時は、再度計測し、他の症状はないか等の観察を行う。また知的障害のある利用者は、自分の不調を上手く表現出来ない方も多いため、検温だけに頼らず日々観察し、少しの変化も見逃さないよう心がけている。

以上の感染予防を行い、今現在コロナウイルスやインフルエンザ等のクラスターは起こっていない。利用者にとっても習慣化している。ただ、テキストのまとめにあった「安全の提供」は行えているかもしれないが、「安心の提供」がおろそかになっているかもしれないとハッとした。今後の課題はスタンダード・プリコーションのさりげない実施である。

評価 A

与えられた課題について正しく理解し、テキストを踏まえた内容及び経験を踏まえた具体的実践内容がしっかり記載されたとても良いレポートです。最高の出来栄です。